令和4年度　施設評価報告

社会福祉法人　勇和会
百舌鳥こども園

『ゆめ♡すき♡なかま』
1.教育・保育理念
♡すべての子どもの幸福をはかる
♡自分の可能性の発見や能力の発揮を通して「夢」を育む
♡生きる力の基礎を培う

2. 教育・保育目標
☆夢に向かって努力する子ども
☆好きを見つけて学ぶ子ども
☆自分も仲間も大切に思う子ども
☆人やものとのふれあい、地域とのつながりが感じられる子ども
☆基本的生活習慣を身につけ、健全で心豊かな子ども

3. 評価目標
職員の資質及び専門性の向上
家庭及び地域との連携
小学校への接続に配慮した教育保育

4. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況	自己評価
職員の資質向上	外部研修への参加及び内部研修を行い、職員間で共通認識をもって保育を行うよう努めたか。	A
家庭との連携	送迎時に保護者とのコミュニケーションを取ったり、連絡帳やお便りなどで保育の内容や子どもの発達や様子を伝えていた。また、参観などで保育への参加できる機会を設けたか	A
地域との連携	地域の行事に、積極的参加したり、地域の子育てサークルへ職員が参加し交流を図っていた。また、園庭開放を行い地域の親子が参加できる機会を作ったか。	B
計画	教育保育要領を踏まえ、職員会議で話し合い計画を立案した。保育日誌などで記録を行い反省及び評価を行ったか。	A
内容	一人ひとりの発達に配慮した計画を立て、心身共に健やかに育つ教育保育を行った。職員の経験年数の違いが、保育に影響しないよう職員が共通認識をもてるよう努力したか。	A
研修	研修内容を職員同士共有し、実際の保育に反映できるよう努めたか。	A
安全・健康	月1回避難訓練を行うなど、園内の安全点検も行ったか。 室内の衛生環境に配慮するとともに子どもたちが手洗いうがい等の健康への関心が持てるよう努めたか	A
特別支援	職員会議を行い、職員が協力して支援に配慮した保育に努めたか	A
幼小の連携	小学校の児童及び職員の交流行事や意見交換会を行ったか。	B
自己評価ランク	A（十分達成されている）　B（達成されている） C（取り組まれているが、成果が十分でない）　D（取り組みが不十分である）	

4. 取り組むべき課題

コロナ禍ではあるが、少しずつ異年齢交流や参観・行事など取り組むことができてきた。
次年度、さらに保護者や職員間の情報共有や連携を密にし、教育保育の向上に取り組んでいく。

5.地域総評

地域への参加協力も行い良好である。
地域の子どもの育成の拠点となることをめざし、今後も子育て支援事業に積極的に取り組んでほしい。